

平成31年度当初予算

市の平成31年度一般会計当初予算は、前年度より55億6,300万円少ない447億5,700万円（前年度比11.1%減）となりましたが、ラグビーワールドカップ2019™の釜石開催に向けて、釜石鵜住居復興スタジアムの機能充実と仮設施設の整備、公認キャンプ地の整備、大会の運営関係経費を中心に予算を編成しました。

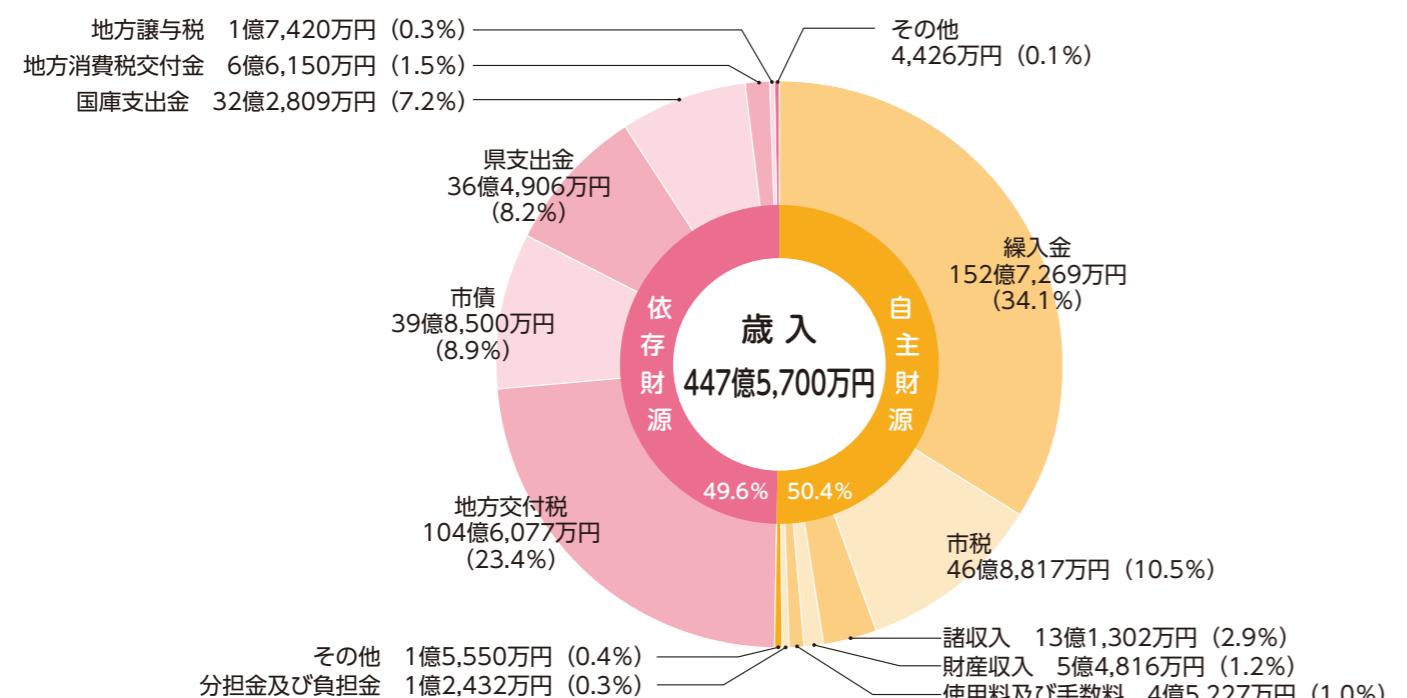
また、特別会計は、4事業合計で前年度より6,773万円多い88億9,452万円（前年度比0.8%増）となりました。企業会計は、4事業合計で前年度より26億9,044万円少ない52億9,078万円（前年度比33.7%減）となりました。

歳入で最も多いのは繰入金で、以下、地方交付税、市税、市債、県支出金の順となりました。

自主財源の柱である市税は、被災した住宅や事業所の再建が進んだこと、主要企業の収益増などから増加を見込み、前年度比2億9141万円増加の46億8817万円（前年度比6・6%増）となりました。

また、復興を進めるため先に国から交付され基金として積み立てていたお金を繰り入れする繰入金が、前年度比88億938万円減少の152億7269万円（前年度比36・6%減）となり、自主財源は50・4%（前年度比11・1%減）となりました。

依存財源では、特別交付税の増加などにより地方交付税が前年度比8・7%増となつた他、保健体育施設の整備や災害復旧事業などにより市債が同48・8%増となりました。これらにより、依存財源は49・6%（前年度比11・1%増）となりました。



市税の内訳				
税目	税額	構成比	市民1人当たり	単位
市民税	23億9,145万円	51.0%	7万780円	円
固定資産税	19億3,094万円	41.2%	5万7,150円	円
市たばこ税	2億7,000万円	2.0%	2,834円	円
軽自動車税	9,576万円	5.8%	7,991円	円
都市計画税	2万円	0.0%	1円	円
計	46億8,817万円	100.0%	13万8,756円	円

【用語解説】

- ・地方交付税……………市町村の財政力に応じて、国から交付されるお金
- ・国庫（県）支出金……………国（県）が、市の行う事業に対して交付する補助金など
- ・市債……………事業を行うために市が国や金融機関などから借りるお金
- ・自主財源……………市町村が自主的に得られる財源（市税や使用料、手数料など）
- ・依存財源……………国や県の基準で交付される財源（地方交付税や国庫（県）支出金、市債など）

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります

平成31年度 施政方針

釜石市議会3月定例会の初日、野田市長が平成31年度市政運営の基本方針などについて述べる施政方針演説を行いました。ここでは、その内容を抜粋してお知らせします。



東日本大震災で被災した21地区では
インフラが整い、少しづつ再建した家屋
が立ち並ぶ様子が見られるようになります。
した。鵜住居地区防災センター跡地には
釜石祈りのパークが概成するなど、特に
も鵜住居地区は変貌を遂げています。
また、本年は当市でラグビーワールド
カップ2019™が開催されます。私た
ちは復興の姿を全世界へ発信し、これま
での支援に感謝の意を表すべく、釜石開
催の成功に全力を尽くしてまいります。

昨年12月には復興公営住宅131戸が全て完成し、本年3月には宅地造成も完了します。昨年末には被災事業者603事業者のうち63事業所が再建を目指している状況であり、1店舗でも多く再建できるよう引き続き支援を行っています。

3月には三陸鉄道リアス線の運行が開始します。また、復興道路、復興支援道路が開通し、残る釜石北ICから大槌ICの区間も平成31年度中の開通を見込んでいます。道路の開通は、安全・安心な市民生活の構築、地域経済の活性化、医療の地域間格差の解消など、多大な効果が期待されます。特にも道路と港湾整備の相乗効果による釜石港のさらなる発展を期待し、道路の整備効果を最大限に生かしたまちづくりに取り組みます。

●**地方創生と定住の推進**
「オープンシティ戦略」は、地域の活動を維持・向上させるために多様な人材が還流し、地域の課題と可能性が自分化され、新たな事業機会や市民活動組みます。

❖**地域包括ケアシステムの構築と福祉の充実**
誰もが住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の力と医療・福祉などの公的サービスにより、助け合いながら暮らすことのできる仕組みづくりを進めます。また、医療・福祉人材を確保するため、定住奨励金や奨学資金貸付などに取り組みます。

❖**賑わいづくり**
本年はラグビーワールドカップ2019や三陸防災復興プロジェクトが開催され、多くの観光客が訪れます。鵜住居駅前には「鵜の郷交流館」が供用を開始し、根浜地区のオートキャンプ場も今夏には完成が見込まれます。また、岩手県沿岸南部プロモーションを実施し、交流人口の拡大と賑わいの創出に努めます。

❖**態勢の構築**「観客等の円滑な輸送の確保」「警備・防災・医療などの安全安心の確保」を4つの柱とし、万全な状態で大会を迎えるよう努めます。

また、7月27日を開催される「ワールドラグビーパシフィック・ネーションズカップ2019 日本代表対フィジー代表」をテストイベントと位置付け、大会本番を見据えた取り組みを進めます。

「釜石コンパス」の他、定住促進のための転入者に対する住宅取得助成、遊休不動産などを使つて事業を起こす起業家の育成を目的とした「リノベーションスクール」、地域おこし協力隊員制度の活用などを実施します。

◆結び

被災地域の復興工事も進展し、目に見えて復興の完遂が近づいてまいりました。本年度は元号が変わる歴史的な転換点であり、新しい時代の幕開けです。新しいまちづくりに向けて乗り越えていかなければならぬ課題があります。

①ラグビーワールドカップ2019釜石開催を成功させ、オープニングティ釜石の本領を發揮し、交流人口の増加を図る

②新たに整備した津波伝承施設や魚河岸にぎわい館、市民ホールなどの施設を維持管理し、多くの人に親しまれ、活用されるようにする

③道路整備による環境の変化に伴い、沿岸地域同士が互いに活気をもたらすよう連携を深める

④釜石市防災市民憲章を具体的な展開を通じて後世に伝える

⑤市民が安心して暮らし続けるために地域包括ケアシステムを充実させる

こうした課題の解決に全力を尽くすとともに、「三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石」の実現に向けまい進してまいります。

との併設・設置整備を行う他、「大会本番における賑わいの創出」「観客等の受入態勢の構築」「観客等の円滑な輸送の確保」「警備・防災・医療などの安全安心の確保」を4つの柱とし、万全な状態で大会を迎えるよう努めます。

また、7月27日に開催される「ワールドラグビーパシフィック・ネーションズカップ2019 日本代表対フィジー」代

◆結び

が生み出され続ける möchtenを目指しています。高校生を対象としたキャリア教育「釜石コンパス」の他、定住促進のための転入者に対する住宅取得助成、遊休不動産などを使って事業を起こす起業家の育成を目的とした「リノベーションスクール」、地域おこし協力隊員制度の活用などを実施します。

平成31年度の主要事業

平成31年度当初予算額447億5,700万円は、前年度より55億6,300万円少ない予算額となりました。世界からの復興の支援に対する感謝の意を表し、ラグビーワールドカップ2019釜石開催を成功へと導く予算となっています。ここでは、平成31年度の主な事業を紹介します。市は、健全な財政運営に努めながら、震災からの一日も早い復興の実現と次世代に誇りうるまちづくりに向けて着実な取り組みを進めていきます。



建設が進む市民体育館

震災対応予算（約220億円）の主な事業（予算額）

※地区名は、各事業計画上の名称です

● 土地区画整理事業（32億円）

震災からの復興と併せ、安全・安心かつ機能的な生活環境を形成するため、住宅地、道路、公園などの基盤整備を行います。

◆ 3地区…片岸・鵜住居・平田

● 市民体育館災害復旧事業（17億円）

被災し解体した市民体育館（桜木町）を鵜住居地区に整備します。

● 漁業集落防災機能強化事業（11億円）

漁港後背地の漁業集落において漁業関連用地や集落道路を整備するとともに、住宅などの建築制限をしている災害危険区域の土地を有効活用するための基盤整備を行います。

◆ 5地区…新浜町・箱崎・箱崎白浜・両石・唐丹

● 津波復興拠点整備事業（10億円）

公共施設や商業施設などを効果的に配置する拠点整備や防災機能と居住環境の確保に向けた整備を行い、将来にわたって都市機能が維持できる市街地を形成します。

◆ 1地区…東部

● 防災集団移転促進事業（4億円）

住宅団地の住環境整備と集団移転跡地の有効な土地利用を図るとともに、住宅再建にかかる費用の一部を補助します。

◆ 10地区…室浜・根浜・箱崎・箱崎白浜・桑ノ浜・両石・尾崎白浜・本郷・小白浜・荒川

● 海岸施設災害復旧事業（3億円）

被災した海岸防潮堤の復旧工事を実施します。

◆ 1漁港…平田

震災以外の通常予算（約227億円）の主な事業（予算額）

● 学校給食センター整備事業（14億100万円）

平成32年4月供用開始に向けて、学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた施設の移転整備を行います。

● 釜石鵜住居復興スタジアム仮設施設整備事業（9億5,000万円）

ラグビーワールドカップ2019釜石開催の試合会場として、不足する諸施設を仮設により整備します。

● 栗林児童館施設整備事業（1億3,600万円）

老朽化し、耐震化していない保育型児童館と仮設の学童育成クラブを新築整備します。

問い合わせ 市財政課 財政係 ☎27-8416

震災対応予算として全体の49%となる約220億円を計上しました。また、震災対応以外の通常予算は約227億円で、人口減少対策として地域おこし協力隊制度を活用し首都圏から的人材を呼び込むとともに、不足する医療や福祉などの人材の確保と定住の推進に取り組みます。

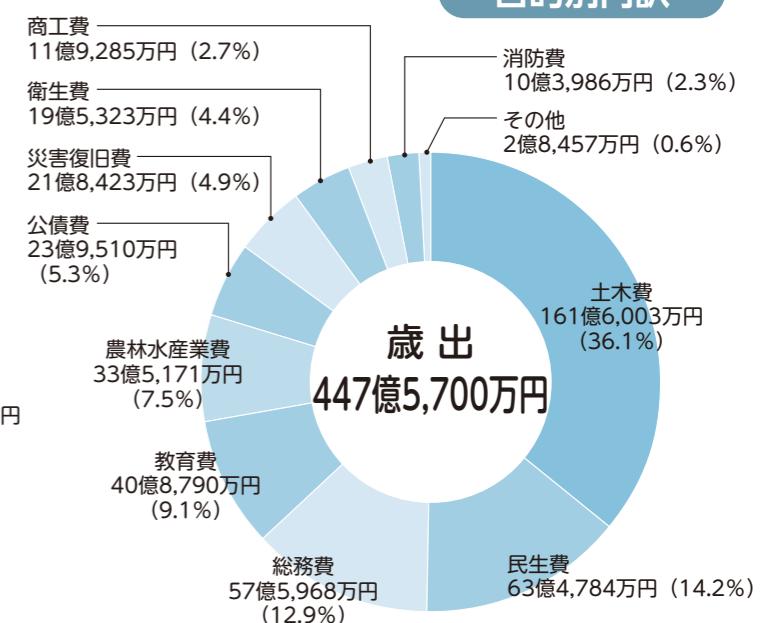
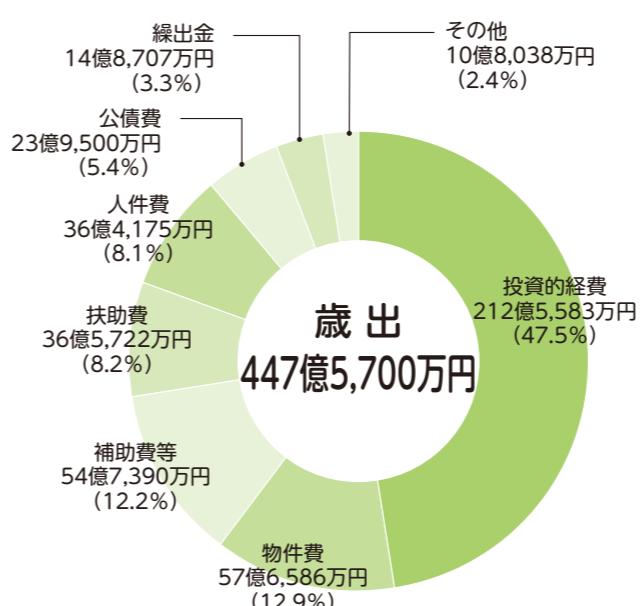
目的別予算の動き

根浜海岸多目的広場等整備事業の減少などで商工費が前年度比33・5%減、下水道会計負担金、災害復興公営住宅建設事業の減少などで土木費が同26・9%減となりました。また、学校給食センター整備事業の増加などで教育費が同1%増、海岸施設災害復旧事業、公共土木施設災害復旧事業の減少などで災害復旧費が同32・9%減となりました。

性質別予算の動き

釜石鵜住居復興スタジアム仮設施設設備事業の増加などで物件費が前年度比24・2%増となりました。また、災害復興公営住宅建設事業、地区画整理事業の減少などで普通建設事業費が同7%減、海岸施設災害復旧事業、公共土木施設災害復旧事業の減少などで災害復旧事業費が同32・9%減となり、投資的経費は同18・7%減となりましたが、全体事業費に占める同経費の割合は5%と依然高い数値となっています。

性質別内訳



企業会計予算額

会計名	本年度予算額	伸び率
水道	収益	8億1,168万円 △2.4%
	費用	7億9,838万円 △3.0%
公共下水道	収入	9億2,977万円 8.4%
	支出	11億5,706万円 8.0%
漁業集落排水	収益	13億5,205万円 34.6%
	費用	13億5,205万円 32.5%
農業集落排水	収入	14億6,845万円 △68.6%
	支出	17億6,165万円 △63.8%
事業	収益	5,039万円 30.3%
	費用	5,065万円 △2.2%
資本	収入	938万円 △30.8%
	支出	1,670万円 2.0%
費用支合計	収益	6,339万円 48.4%
	費用	5,976万円 1.7%
資本	収入	7,084万円 △11.8%
	支出	9,454万円 27.6%
費用支合計	計	52億9,078万円 △33.7%

特別会計予算額

会計名	本年度予算額	伸び率
国民健康保険	42億6,357万円	4.2%
後期高齢者医療	4億7,368万円	2.4%
介護保険事業勘定	41億2,373万円	△2.7%
サービス事業勘定	2,894万円	△4.3%
魚市場	460万円	△5.7%
合計	88億9,452万円	0.8%

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります

※伸び率の△はマイナス